

＜新木場＞気になるスポット 東京ヘリポート

月報委員 日向進

7月初旬、以前から行ってみたいと話が出ていました、東京ヘリポートに取材の申し込みをしましたところ、念願だった東京都港湾局ヘリポート担当の藤ノ木功様よりお話を伺うことができましたので、少しだけご紹介をさせていただきます。



東京ヘリポートの位置(東京都港湾局HPより掲載)

昭和30年代からヘリコプターは、広範囲にわたる運行距離と小回りのきく操縦性能があること、用地面積や工事費用も少なく、その性能と経済性についてのメリットが注目され需要が増え続けてきました。こうした需要に対応するため、新木場に東京ヘリポートが整備され、昨年で開港50周年を迎えたそうです。

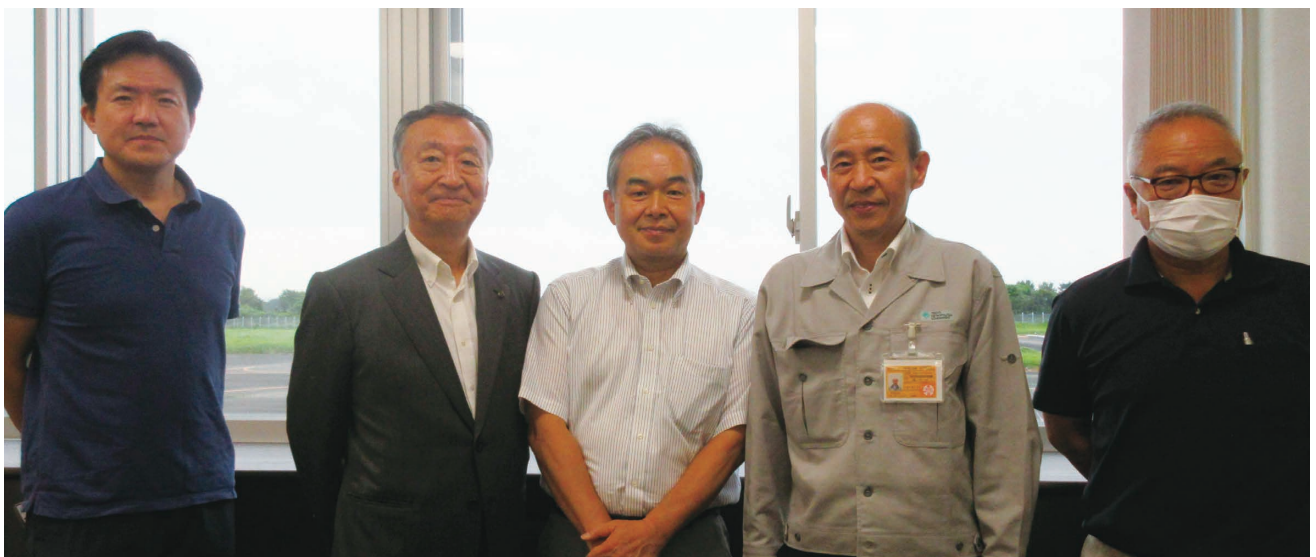
東京ヘリポートは、全国12ヵ所ある公共用ヘリポートの一つ、驚いたのは着陸1回につき¥1300(6t以下)との金額で安く、民間になると約10倍を超えるところもあるとの事。東京ヘリポートには、ヘリコプター大小38スポット(大10直径26m、小28直径15m)を備え、年間の着陸回数は1万回を超え、全国公共用ヘリポートの2分の1を占めます。格納庫には新聞社やテレビ局、消防庁などのヘリが待機しており、災害事故などあればすぐに飛行する体制が整っており、多彩な場面で重要な役割を果たしています。



所定のスポットに離着陸する様子

ヘリコプターは向かい風に向けて離陸するため、東京ヘリポートは立地を考慮して南北に向かって滑走路が作られ、風向きによって離陸する向きが変わります。取材した当日も、東京ヘリ遊覧のクルージングを待っている外国の観光客の人がたくさんいました。いま人気の観光スポットのようで、スマホ片手にとっても興奮していました。

厳重なセキュリティーがあり、限られた範囲の取材ではありましたが、快くご協力いただきました藤ノ木様、貴重なお時間、大変にありがとうございました。



(左から)日向、豊田副理事長、深谷委員長、藤ノ木功課長代理、関野副委員長